

# ヴィヨンの妻 ～桜桃とタンポポ～ (2009)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 114分

初公開日 2009/10/10

公開情報 東宝

映倫 PG12

## 【キャッチコピー】

太宰治 生誕100年

ある夫婦をめぐる「愛」の物語

## 【解説】

太宰治の同名短編を「隠し剣 鬼の爪」の松たか子と「母べえ」の浅野忠信主演で映画化。放蕩者の小説家と、そんなダメ夫をしなやかな逞しさで包み込んでしまう妻が織りなす心の機微と愛の形を繊細に描き出す。共演に伊武雅刀、室井滋、広末涼子、妻夫木聰、堤真一。監督は「遠雷」「サイドカーに犬」の根岸吉太郎。第33回モントリオール世界映画祭でみごと監督賞を受賞した。

戦後間もない混乱期の東京。小説家の大谷は才能に恵まれながらも、私生活では酒を飲み歩き、借金を重ね、おまけに浮気を繰り返す自堕落な男。放蕩を尽くしては健気な妻・佐知を困らせてばかりの日々。ある日、行きつけの飲み屋“椿屋”から大金を奪って逃げ出してしまった大谷。あやうく警察沙汰になりかけるが、佐知が働いて借金を返すことどうにか収まる。こうして椿屋で働くようになった佐知だったが、その評判はすぐに広まり佐知目当ての客で賑わい出す。そんな佐知の前に、彼女を慕う眞面目な青年・岡田や昔佐知が想いを寄せていた弁護士・辻が現われ、にわかに心搖らめく佐知だった。いっぽう大谷は、そんな佐知の姿に嫉妬を募らせ、ついに馴染みのバーの女・秋子と姿を消してしまった。

## 【クレジット】

監督	根岸吉太郎
製作	亀山千広
	山田美千代
	田島一昌
	杉田成道
エグゼクティブプロデューサー	石原隆
	直井里美
	酒井彰
プロデューサー	前田久閑
	木幡久美
	菊地美世志
アソシエイトプロデューサー	稻葉直人
原作	太宰治
脚本	田中陽造
撮影	柴主高秀
美術監督	種田陽平

美術	矢内京子
衣裳	古藤博
編集	川島章正
音響効果	齋藤昌利
音楽	吉松隆
照明	長田達也
録音	柿澤潔
装飾	鈴村高正
衣裳デザイン	黒澤和子 Kzuko Kurosawa
ヘアメイク	倉田明美
スクリプター	岩倉みほ子
助監督	高橋正弥
出演	松たか子 佐知 浅野忠信 Tadanobu Asano 大谷 室井滋 巳代 伊武雅刀 吉蔵 光石研 山本未來 Mirai Yamamoto 鈴木卓爾 小林麻子 信太昌之 新井浩文 榎本陸 有福正志 山崎一 宇野祥平 中沢青六 水上竜士 中村まこと 田村泰二郎 鈴木晋介 大森立嗣 眞島秀和 芹沢礼多 笠松伴助 宮地雅子 奥田恵梨華 森山智弥子 広末涼子 Ryoko Hirosue 秋子 妻夫木聰 岡田 堤真一 辻